

講義コード	11C0135500	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期																	
科目名	特別講座5<ビジネススキル～課題解決編>					経済学部		第2期																	
履修前条件						備考																			
授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ■課題解決を行う当事者としての主体性を身につけると同時に、具体的なスキル・ツールを習得するための講義を行う。 ・課題解決を効果的・効率的に実践するために必要な論理的思考力を習得する ・課題解決を実践する上で活用できるスキルやツールを講義内で実際に使用しながら習得する ・課題解決の当事者として周囲を牽引し、巻き込み、成果につなげていく方法を学ぶ 																								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■自ら主体的に課題を形成し、周囲へ働きかけることへの意欲が高められる ・学生生活のなかで、また社会人になってから具体的に課題解決プロセスを活用するイメージを持つことができる ・自分の思考の特徴を明らかにすることで、課題解決に向けた取り組み方の姿勢を変えることができる ■課題解決のプロセスの効率性と成果の実現性を高めることができる ・むやみやたらに課題解決に取り組むことで、疲弊につながる“もぐらたたき”状態を脱するための視点やコツを体得できる ・効果的なツールを、目的と状況にあわせて使うことができる 																								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	2単位科目取得の場合＝90時間（30時間の授業時間を含め）の学修を必要とするため必要な授業外学修時間は60時間とする。 授業外学修内容：各回の授業で触れた点の復習、各回の宿題の実施、次回取り扱う内容の予習を図書館およびインターネットを使って行うこと。																								
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>【第1回】 課題解決力とは</td> <td>【第9回】 解決策を立案する①</td> </tr> <tr> <td>【第2回】 ベースとしての論理的思考</td> <td>【第10回】 解決策を立案する②</td> </tr> <tr> <td>【第3回】 問題を発見する①</td> <td>【第11回】 解決策を実行するためのコミュニケーション</td> </tr> <tr> <td>【第4回】 問題を発見する②</td> <td>【第12回】 課題解決実践①</td> </tr> <tr> <td>【第5回】 原因を探求する①</td> <td>【第13回】 課題解決実践②</td> </tr> <tr> <td>【第6回】 原因を探求する②</td> <td>【第14回】 課題解決実践③</td> </tr> <tr> <td>【第7回】 原因を探求する③</td> <td>【第15回】 課題解決実践④</td> </tr> <tr> <td>【第8回】 課題を形成する①</td> <td></td> </tr> </table>									【第1回】 課題解決力とは	【第9回】 解決策を立案する①	【第2回】 ベースとしての論理的思考	【第10回】 解決策を立案する②	【第3回】 問題を発見する①	【第11回】 解決策を実行するためのコミュニケーション	【第4回】 問題を発見する②	【第12回】 課題解決実践①	【第5回】 原因を探求する①	【第13回】 課題解決実践②	【第6回】 原因を探求する②	【第14回】 課題解決実践③	【第7回】 原因を探求する③	【第15回】 課題解決実践④	【第8回】 課題を形成する①	
【第1回】 課題解決力とは	【第9回】 解決策を立案する①																								
【第2回】 ベースとしての論理的思考	【第10回】 解決策を立案する②																								
【第3回】 問題を発見する①	【第11回】 解決策を実行するためのコミュニケーション																								
【第4回】 問題を発見する②	【第12回】 課題解決実践①																								
【第5回】 原因を探求する①	【第13回】 課題解決実践②																								
【第6回】 原因を探求する②	【第14回】 課題解決実践③																								
【第7回】 原因を探求する③	【第15回】 課題解決実践④																								
【第8回】 課題を形成する①																									
成績評価の方法	①授業課題提出 / 授業への取り組み姿勢 15% ②複数回の宿題提出 35% ③最終テスト 50% *①～③の合計点で評価																								
フィードバックの内容																									
教科書																									
指定図書																									
参考書	『30代までに身につけておきたい「課題解決」の技術』HRインスティテュート（PHP研究所）2011年																								
教員からのお知らせ	課題解決は社会人には必須のスキルです。大学生のうちから課題解決法を身につけ、就職活動・社会人生活に活かせるように皆さんのスキルトレーニングを支援していきます。講師は現役の経営コンサルタントが担当します。企業活動の最先端事例をまじえながら分かりやすく講義をしていきます。																								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。																								
その他																									